

市町村名	恩納村
------	-----

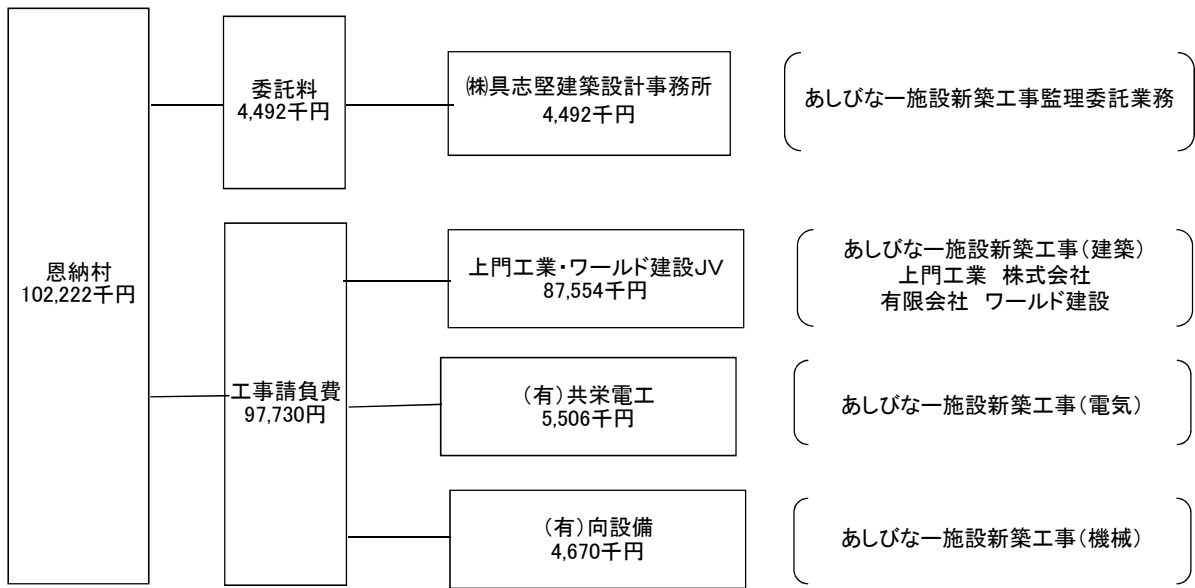
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③	あしびなー施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成29年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	地域の伝統芸能を保存継承し、それらを活かした体験学習を提供する場を整備することにより、観光誘客を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R5年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	(a) 当初予算額	97,206	197,682			
		(b) 予算現額	102,222	197,682			
		(c) 増減額(b-a)	5,016	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0				
	A. 計(b+d)	102,222	197,682	0	0	0	
	B. 執行済額	37,085	197,682				
	うち交付金充当額	29,668	158,145				
	次年度繰越額	65,137	0				
	執行率(%) (B/A)	36.3%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	用地取得の遅れにより、工事着手が令和3年1月になった。また、磁気探査で反応があったため試掘をしたが不発弾ではなかった。試掘などに伴い不測の日数を要したために繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	建設工事の実施	目標	(工事の実施)	(工事の実施)	()	()	
		実績	繰越	完成			
達成状況説明	目標	()	()	()	()		
	実績						
用地取得や磁気探査の試掘などで繰越したが、令和3年9月に完成した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)	
		目標	()	(建設工事の実施)	(建設工事の実施)	()	()
	実績		繰越	完成			
	【R4成果目標】 施設の年間利用者 1,680人以上	目標	()	()	()	()	(1680人以上)
実績							
進捗状況説明	R1年度に実施予定だった用地取得が難航し完了できなかったが、繰越をして交渉がまとまり契約することができた。建築基本設計と建築実施設計を同年に実施できなかったこと、用地交渉の難航により当初より2年の遅れになり、供用開始予定が令和4年度となった。このため効果発現の時期を令和4年度に変更している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・着手の遅れにより繰越となったが、遅れを取り戻すために無理な工程を組まないように注意し、安全・安心な工程に努めた。</p>	<p>・住宅密集地での工事になるので、工程管理に注意を払うが、工期に間に合わないときは、資材等の変更などで対応していく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・工事は令和3年12月に完了するので、観光客等の受け入れ態勢を整える。また、継続してのPR活動を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
102,222	102,222	81,777	20,445	0



資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である仲泊区は総事業費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。